

「インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻し」等に関するアンケート結果(2013～2018年度)

(対象：正会員・準会員・特例会員191行、単位：件、百万円)

1. インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻し件数・金額について

時 期	個人顧客		法人顧客	
	件数	金額	件数	金額
2013年度	980	1,249	34	169
2014年度	1,056	1,212	119	448
2015年度	1,124	1,261	55	427
2016年度	576	709	54	234
2017年度	235	416	34	271
2018年度	223	383	10	17

2. インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻しにかかる補償件数等について【個人顧客】

時 期	対応方針 決定済件数 ①	うち補償件数 ②	補償率 (②÷①)
2013年度	979	968	98.9%
2014年度	1,052	991	94.2%
2015年度	1,107	1,088	98.3%
2016年度	566	525	92.8%
2017年度	233	209	89.7%
2018年度	216	207	95.8%

(注 1) アンケート結果は、自行のお客さま(預金者)からの申出があり、当該口座を確認したところ、本人の意思によらずに、当該口座の預金が不正に移動された等、本人以外による預金等の不正な払戻しが発生しており、資金移動後、振込資金がすでに引出されるなど被害者に返還できない件数・金額を計上(配偶者や親族等による払戻しを除く)。

(注 2) 「時期」とは当該事案について、預金等の払戻しが発生した時期。

(注 3) 「件数」は、原則として預金名義人単位。「2.」の「対応方針決定済件数」は、「1.」の「件数」の内訳。

(注 4) 「2.」は、個人のお客様に係る件数等。

(注 5) 2014年度以降の計数から、特例会員の計数を含めて集計している。

(注 6) 金融機関が各期に発生した被害を調査し対応方針を決定するまでには一定の時間を要するため、「対応方針決定済件数」、「補償件数」および「補償率」は修正の可能性はある。

「インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻し」等に関するアンケート結果(2019年度～)

(対象：正会員・準会員・特例会員191行、単位：件、百万円)

1. インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻し件数・金額について(図1)

時 期	個人顧客		法人顧客	
	件数	金額	件数	金額
2019年度	1,628	1,736	14	32
2019年4月～6月	96	138	5	13
2019年7月～9月	445	434	5	8
2019年10月～12月	802	1,045	0	0
2020年1月～3月	285	118	4	11
2020年度	1,295	1,477	29	34
2020年4月～6月	387	451	14	17
2020年7月～9月	246	471	6	7
2020年10月～12月	393	346	6	6
2021年1月～3月	269	208	3	3
2021年度	241	643	9	105
2021年4月～6月	29	97	3	31
2021年7月～9月	128	174	5	63
2021年10月～12月	41	257	0	0
2022年1月～3月	43	115	1	11
2022年度	1,682	2,240	23	65
2022年4月～6月	80	175	2	1
2022年7月～9月	524	643	4	5
2022年10月～12月	385	492	2	9
2023年1月～3月	693	930	15	50

2. インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻しにかかる補償件数等について【個人顧客】(図2)

時 期	対応方針 決定済件数 (①)	うち補償件数 (②)	補償率 (②÷①)
2019年度	1,622	1,605	99.0%
2019年4月～6月	93	90	96.8%
2019年7月～9月	445	440	98.9%
2019年10月～12月	801	795	99.3%
2020年1月～3月	283	280	98.9%
2020年度	1,242	1,192	96.0%
2020年4月～6月	371	362	97.6%
2020年7月～9月	242	233	96.3%
2020年10月～12月	365	339	92.9%
2021年1月～3月	264	258	97.7%
2021年度	233	201	86.3%
2021年4月～6月	29	20	69.0%
2021年7月～9月	126	118	93.7%
2021年10月～12月	39	30	76.9%
2022年1月～3月	39	33	84.6%
2022年度	848	793	93.5%
2022年4月～6月	66	56	84.8%
2022年7月～9月	468	458	97.9%
2022年10月～12月	284	254	89.4%
2023年1月～3月	30	25	83.3%

(注1) アンケート結果は、自行のお客さま(預金者)からの申出があり、当該口座を確認したところ、本人の意思によらずに、当該口座の預金不正に移動された等、本人以外による預金等の不正な払戻しが発生しており、資金移動後、振込資金がすでに引出されるなど被害者に返還できない件数・金額を計上(配偶者や親族等による払戻しを除く)。

(注2) 「時期」とは、当該事案について、預金等の払戻しが発生した時期。

(注3) 「件数」は、原則として預金名義人単位。「2.」の「対応方針決定済件数」は、「1.」の「件数」の内訳。

(注4) 「2.」は、個人のお客様に係る件数等。

(注5) 2014年度以降の計数から、特例会員の計数を含めて集計している。

(注6) 金融機関が各期に発生した被害を調査し対応方針を決定するまでには一定の時間を要するため、「対応方針決定済件数」、「補償件数」および「補償率」は修正の可能性がある。

図1: インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻し件数・金額について

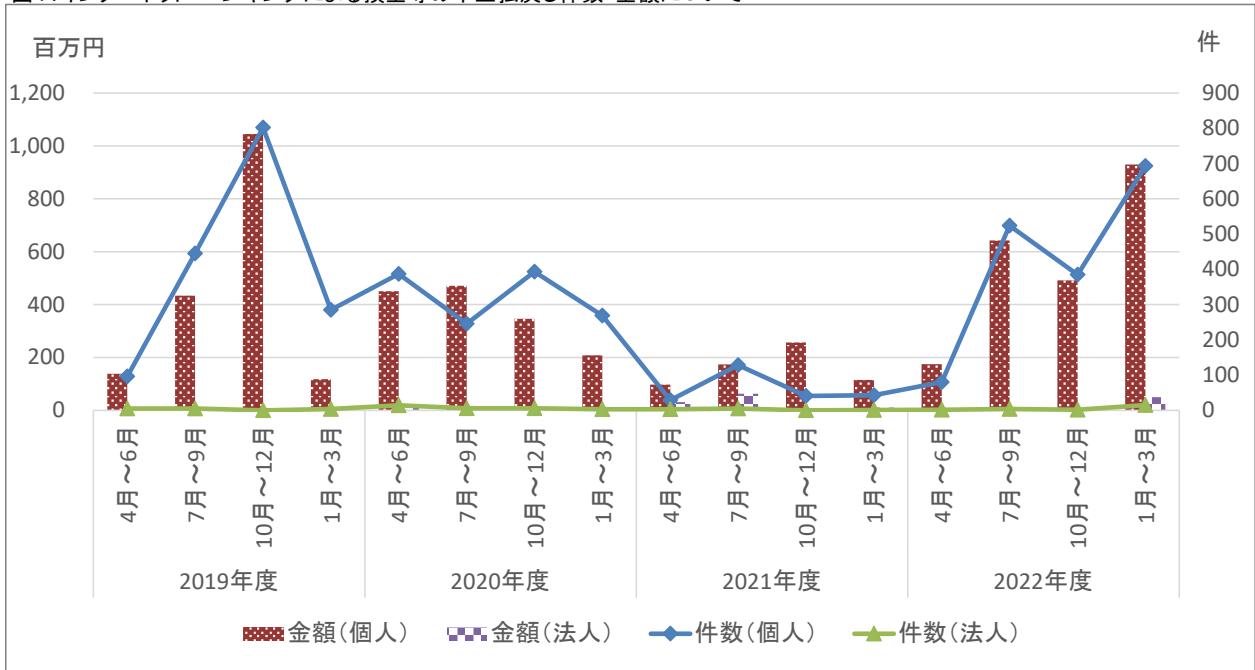
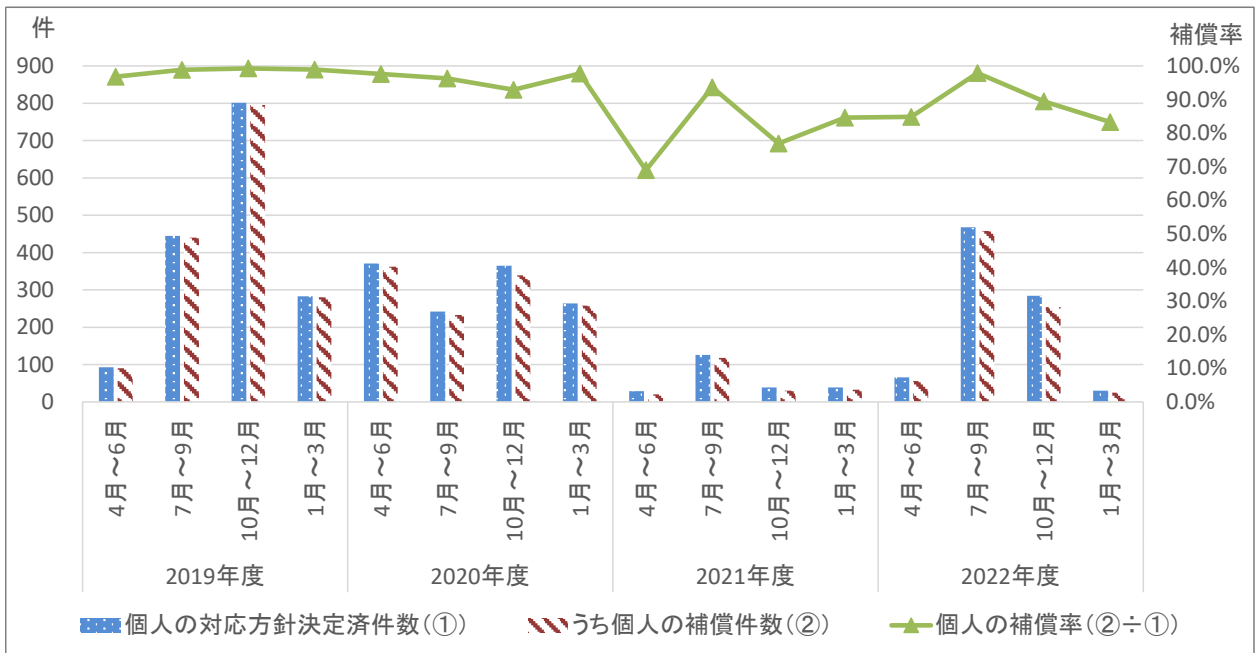


図2: インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻しにかかる補償件数等について(個人のみ)



以上